

第4章 目指す姿と課題

4-1. あるべき姿（30年後）

広島県の総合計画である「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」における基本理念※¹や目指す姿※²、「社会資本未来プラン」,「都市計画区域マスタープラン」における公園の役割や本来、公園がもつ多様な機能（都市環境形成, 活動, 憩い, 交流, 防災など）などを踏まえ, 30年後の県立3公園のあるべき姿を以下のように掲げます。

※1: 将来にわたって, 「広島に生まれ, 育ち, 住み, 働いてよかった」と心から思える広島県の実現

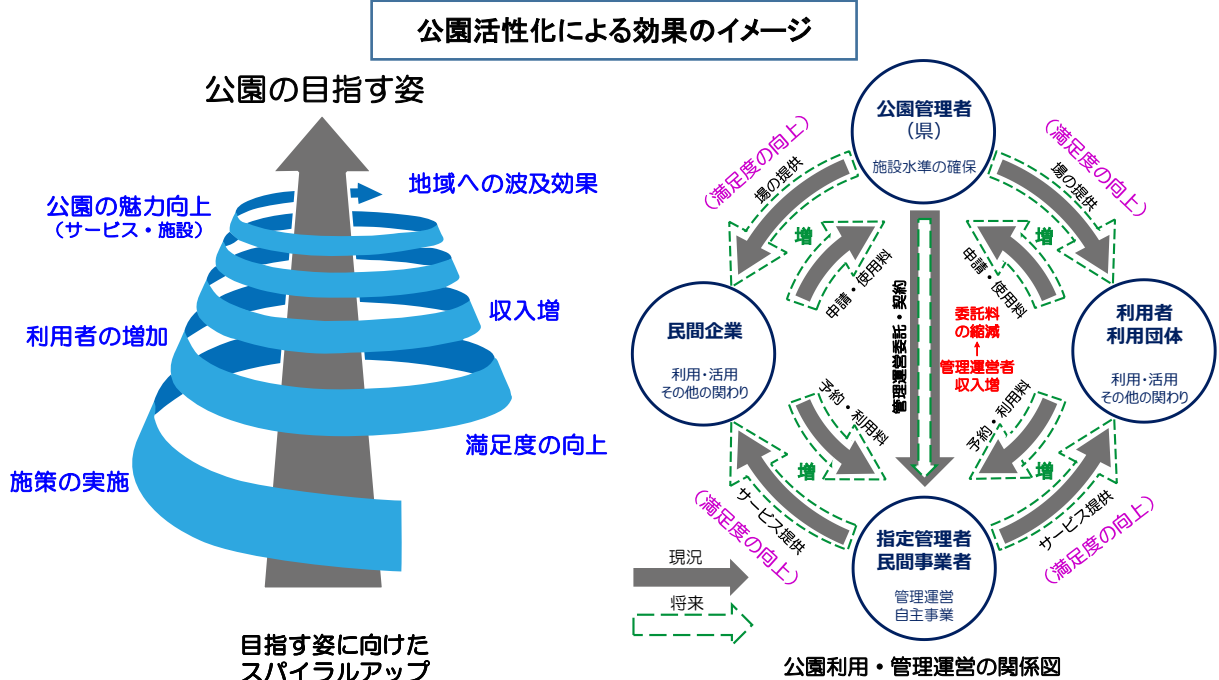
※2: 都市県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により, 夢や希望に「挑戦」しています

～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

あるべき姿（30年後）

子供からお年寄りまでの誰もが何度でも気兼ねなく訪れたいくなる多様性があり, 引続き自然と都市の近接性を実感できる場として県民から愛されるとともに, 県民の健康・スポーツなどの夢や希望への挑戦を後押しする公園の実現

公園の活性化をきっかけとして「施策の実施（公園の魅力向上）による公園利用者の満足度の向上や利用者の増加を目指し, その結果, 公園の収入が増加し, その増加した収益によって, 更に公園の魅力向上につなげる」好循環を生み出し, 魅力向上し続ける公園を目指すとともに, 公園の活性化によって, 公園の交流拠点としての役割が強化されることで, 地域社会への波及効果も期待できます。



4-2. 目指す姿（10年後）

前述の「あるべき姿（30年後）」を見据えるとともに、「公園の現状と特性」や「公園利用者ニーズ」「社会情勢の変化」を踏まえ、10年後の目指す姿を以下のとおり掲げます。

目指す姿（10年後）			
共通	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な人々から高い満足度を得て、誰でも何度でも訪れたいとなり、滞在時間の長い施設となっている。 ● 気軽に予約・利用ができるなど、利用者へのサービスが行き届いており、満足度が高い施設となっている。 ● 民間事業者や地域住民等が公園運営にも参画しており、公園全体の魅力が向上し続けている。 		
	みよし公園	びんご運動公園	せら県民公園
	<ul style="list-style-type: none"> ● 備北圏域の誰もが何らかの関わりを持ち、地域に開かれた公園として積極的に利用されている。また、高速道路でのアクセス性の良さを生かし、文化活動・企業活動などが盛んに行われている。 ● スポーツ及びレクリエーション施設では施設水準が適切に維持され、備北圏域を代表するスポーツ施設として様々な大会等が行われており、屋外ではゆったりと楽しめる、憩える空間が広がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 尾道市を中心とする備後圏域の誰もが何らかの関わりを持ち、地域に開かれた公園として積極的に利用されている。 ● スポーツ施設では施設水準が適切に維持され、県内スポーツにおける中核施設として様々な大会開催・イベント等が行われている。また、施設更新時には、利用者ニーズに柔軟に対応するなど、レクリエーション施設も充実し、長時間楽しめる、憩える空間となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 原風景が広がる自然観察園では、自然観察や環境学習などが盛んに行われ、地域に欠かせない施設となっている。 ● ゆったりと憩える空間が形成されており、周辺観光施設を周遊するファミリー層が、立ち寄ってみたいくなる公園となっている。

目標指標					
項目	対象公園	現況		将来（10年後） （手だてを講じない場合）	
●利用者数	みよし公園	約70万人	約173万人	約70万人 (約63万人)	約182万人 (約160万人)
	びんご運動公園	約70万人		約77万人 (約70万人)	
	せら県民公園	約33万人		約35万人 (約27万人)	
●満足度	みよし公園	86%	86%	約90%	約90%
	びんご運動公園	89%		約90%	
	せら県民公園	78%		約80%	

※現状の利用人数は、平成25年以降における公園施設の大規模修繕や高速道路の開通、新型コロナウイルス感染症などの外的な影響が少ない年度の平均値を採用しています。

4-3. 現状から手立てを講じない場合と目指す姿とのギャップ

現在の公園の状況から何の手立ても講じない将来の姿と、目指す姿を比較した場合、30年後のあるべき姿の実現に向けて、公園活性化における好循環を生み出すため、「満足度の向上」「リピート率の向上」「新規利用者の開拓」「収入増」「コスト縮減」の5つの視点から見ると、以下に示すようなギャップがあります。

(多様なニーズや多様性に係るギャップ)

目指す姿として「多様な人々から高い満足度を得て、誰でも何度でも訪れたいとなり、滞在時間の長い施設となっている」ことを挙げていますが、現在の公園の状況のままだと、飲食施設や遊戯施設等を導入してもらいたいというような様々なニーズが満たされない状況となります。

また、目指す姿として「気軽に予約・利用ができるなど、利用者へのサービスが行き届いており、満足度が高い施設となっている」ことを挙げていますが、現在の公園の状況のままだと、バリアフリー化に対する満足度が低い状況などが改善されず、気軽に利用できない、利用者へのサービスが行き届いていない施設として評価され、公園全体としての満足度の低下が懸念されます。

(各公園の特性に係るギャップ)

目指す姿として「多様な人々から高い満足度を得て、誰でも何度でも訪れたいとなり、滞在時間の長い施設となっている」ことを挙げていますが、以下の理由で利用されない施設となることが懸念されます。

【みよし公園】

- ・みよし公園は地元の地域住民の利用が多い状況ですが、現在の状況のままだと「地域ならではの取組」に関わる人が増えないことや、周辺の類似施設との差別化が図れず、利用者認知されないことが予想されます。

【びんご運動公園】

- ・びんご運動公園は地元の地域住民の利用が多い状況ですが、現在の状況のままだと「地域ならではの取組」に関わる人が増えず、地域活動の場としての利用増加が見込めないことが予想されます。

【せら県民公園】

- ・せら県民公園は、県下で貴重な自然観察園を有する公園で、かつ、周辺に観光施設が点在している立地特性を有していますが、現在の状況のままだと「自然保護活動・環境学習」の広がりが見込めないことや、周辺の環境変化に対応できず、他の観光施設へ利用者が流出することが予想されます。

(コストに係るギャップ)

目指す姿として「気軽に予約・利用ができるなど、利用者へのサービスが行き届いており、満足度が高い施設となっている」「民間事業者や地域住民等が公園運営にも参画しており、公園全体の魅力が向上し続けている」ことを挙げていますが、現在の公園の状況のままだと、老朽化対策費用の不足で施設の利用制限やサービス低下などが懸念されます。また、民間事業者等の公園運営への参画が見込まれず、結果的に魅力の向上が図れない状況や民間資金の導入が図れない状況が予想され、さらに利用料金による収入が増加しない状況やサービス水準の向上が見込めない状況などを招くなど、負の連鎖が懸念されます。

4-4. 目指す姿の実現に向けた課題

前述の「現状から手立てを講じない場合と目指す姿とのギャップ」を踏まえるとともに、各公園の現状や利用者ニーズなどから、目指す姿の実現にあたって考慮すべき課題を以下に整理しました。

(1) 多様化するニーズが満たされていない

公園利用者へのアンケート調査結果では、各公園において、様々な施設整備のニーズ*が挙がっています。目指す姿の実現にあたっては、これらのニーズが高い施設を中心として、ターゲット層の志向を意識しながら、未活用エリア（整備前の未利用地エリアや整備後の低利用エリア）を活性化し、先駆けて多様化するニーズを満たすため、民間のノウハウや資金を活用し、優先順位づけや取舍選択を行いながら、公園全体の魅力を向上させ続ける必要があります。

*みよし公園でのニーズ

- ・《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と、「アスレチック」「キャンプ場」「じゃぶじゃぶ池」「冒険遊び場」「ボルダリング」など、手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- ・《地元要望》トイレの洋式化についての要望がある。また、施設・設備に対する要望が多く、具体的には、日陰やベンチ設置など滞在環境の改善、駐車場の位置、トイレ設備の充実、散策路への案内看板の設置等が挙げられている。

*びんご運動公園でのニーズ

- ・《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と、「ボルダリング」「アスレチック」など、手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- ・《地元要望》施設・設備に対する要望が多く、具体的には、球技場の芝生化（人工芝も可）、ドッグランの整備、陸上競技場の照明料金徴収の在り方、スケートボード場の整備、3on3バスケットコート場の整備、ウォーキングコースや歩道の整備、植栽（花）の充実、駐車場の整備、トイレの改善（洋式化、より綺麗に）、新しい設備への入れ替え、Wi-Fi環境、光回線環境の整備等が挙げられている。

*せら県民公園でのニーズ

- ・《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と、「キャンプ場」「冒険遊び場」など、手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- ・《地元要望》ワイナリーを目的に来訪する人も多い一方で、子どもと一緒に利用できるサービス（子供向けイベント、飲食メニュー等）の充実を求める声が多い。また、レクリエーション広場へのトイレ追加・洋式化やクロスカントリーコースの整備、駐車場の舗装などの要望がある。

※アンケート結果：令和3年度実施の公園利用者アンケート調査結果

(2) 誰もが安心して利用できる多様性への対応が不十分

安全安心に関する満足度は、「バリアフリー化の状況」の項目で満足度が低く、安全安心な施設整備・更新においては、これらを意識した施設整備、更新が必要です。

また、社会的には、子育て世代や高齢者、ダイバーシティなど、利用者の多様性への対応が求められており、多様性のある施設への更新によって、高い満足度を維持し続ける必要があります。

(3) 公園毎の特性が十分に生かされていない

県立3公園は、広域のレクリエーション需要を充足するために整備された公園であり、広域利用における各公園の強みを更に強化するとともに、弱みを把握し対応していく必要があります。また、近隣からの利用者が多い傾向や近隣の観光施設が点在する状況等の現状を踏まえ、地域づくり活動の場として活用されるなど、地域に開かれた公園となるための取組が必要です。

①【みよし公園】周辺施設との差別化の必要

- ◆ 利用者の約7割は三次市及び庄原市在住者ですが、「イベントや催し物の開催・参加(33%)」が改善点の上位にあがっており、「地域ならではの取組(37%)」に関する満足度が低いなど、これらを対象とした公園と関わる人を増やす取組や関わり方の幅を広げる取組が十分ではありません。目指す姿の実現にあたっては、三次市及び近隣市町をターゲットとし、地域と公園との関わり方の幅を増やし利用率を高める施策の展開が必要です。
- ◆ 中国自動車道及び尾道自動車道の両方からアクセス可能な三次東インターチェンジの直近に位置する特性を有し、一部、広島市(13%)などの都市部からの利用が見られますが、利用者のほとんどは周辺地域の利用者です。目指す姿の実現にあたっては、この良好なアクセス性を生かした広域的な集客を可能とする本公園ならではの魅力づくりが必要です。

②【びんご運動公園】地域に開かれた公園づくりの必要

- ◆ 利用者の多くは尾道市及び近隣市である福山市、三原市在住者ですが、スポーツ大会・教室を除く地域イベントの開催実績は少なく、「イベントや催し物の開催・参加」が公園の改善点の上位にあがっています。また、「地域ならではの取組」に関する満足度が低い(43%)など、これらを対象とした公園と関わる人を増やす取組や関わり方の幅を広げる取組が十分ではありません。目指す姿の実現にあたっては、尾道市及び近隣市をターゲットとし、地域と公園との関わり方の幅を増やし利用率を高める施策の展開が必要です。

③【せら県民公園】自然活動等の拡大・周辺施設との連携強化の必要

- ◆ 現状でも「せらサポーターズクラブ」等による湿地の保全整備や周辺アカマツ林・雑木林遊歩道の整備、自然観察園・せら台地での里山セミナー実施などのボランティア活動が行われていますが、目指す姿の実現にあたっては、地域活動や自然保護活動・環境学習などを行いやすい環境を継続し、活動を広め、関係人口を増加させる必要があります。
- ◆ 本公園利用者は隣接する「せらワイナリー」を利用している人が多い(83%)状況です。目指す姿の実現にあたっては、周遊する利用者が立ち寄り施設とするため、せらワイナリー等の観光施設との連携を強化し、認知度向上に向けたさらなる広報活動を行う必要があります。

(4) 施設の老朽化対策費用の増加などによる利用制限やサービス低下の懸念

各公園は供用開始からの年数の経過に応じて、老朽化に対する必要な費用等が増加する傾向にあり、今後、更新時期を迎える施設数の増加により、ますます、その維持管理・更新費用の増加が見込まれます。

※みよし公園は供用開始から30年が経過し、必要な老朽化対策費は2億円/年となっている。
 ※びんご運動公園は供用開始から28年が経過し、必要な老朽化対策費は4億円/年となっている。
 ※せら県民公園は供用開始から15年が経過し、必要な老朽化対策費は1億円/年となっている。

また、各公園では、県からの委託料と利用料金等による収入によって管理運営していますが、適切な管理運営費を確保していくためには利用料金等の収入確保が重要です。

※みよし公園の管理運営費（R1 支出）は約1.4億円/年であり、その内訳は、県からの委託料約1.1億円、利用料金等収入約0.3億円となっている。
 ※びんご運動公園の管理運営費（R1 支出）は約2.4億円/年であり、その内訳は、県からの委託料約1.5億円、利用料金等収入は、約0.9億円/年となっている。
 ※せら県民公園の管理運営費（R1 支出）は約0.2億円/年を要している。

目指す姿の実現にあたっては、公園経営の視点から、限られた予算の中で、利用者の満足度を維持向上させながら、管理コストの縮減や収入増加へ取り組む必要があります。

こうしたことから、大規模な施設更新にあたっては、日常的な利用状況や大会開催状況と、整備水準との不整合が見られる施設について状況を把握し、更新時の施設水準を適正化する必要があります。

また、維持管理・更新費用の増大が見込まれるなか、県民の健康・スポーツなどの夢や希望への挑戦を後押しする公園を実現するためには、スポーツ振興やレクリエーション機会の創出といった公共の役割にも配慮しつつ、提供するサービスや施設の整備水準、利用料金等の適正化が必要です。現状では特に、利用にかかる管理運営費と利用料負担のバランスについて、施設毎の偏りがみられるため、建設コストや公共の役割なども踏まえ、段階的に是正する必要があります。さらにSDGs（持続可能な開発目標）が世界的に注目されるなか、SDGsに着目した整備、維持管理、更新が必要です。

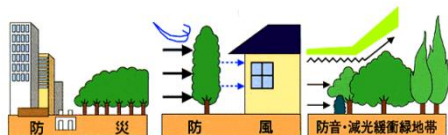
コラム

都市公園の役割

出典) 広島県ホームページ

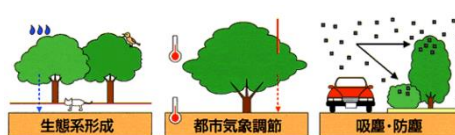
■都市防災

- (1) 災害時の避難地・避難路 (2) 延焼防止
- (3) 災害応急対策の拠点



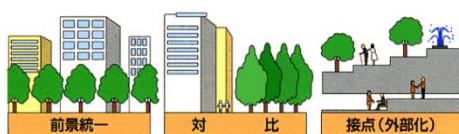
■都市環境の維持・改善

- (1) 動植物の生息・生育地 (2) 都市気象の調節
- (3) 大気浄化



■都市景観

- (1) 美しい都市景観の形成 (2) 快適な環境の形成
- (3) 都市のシンボル (4) 個性的な都市づくり



■都市景観

- (1) 美しい都市景観の形成 (2) 快適な環境の形成
- (3) 都市のシンボル (4) 個性的な都市づくり



■精神的充足

- (1) 日常生活の中の緑、花、人とのふれあい
- (2) 心の安らぎ・生きがい
- (3) 季節感 (4) 交流・コミュニティ活動

